

(2 環境モデル都市として、我が国・世界を牽引する地球温暖化対策、低炭素社会の構築に資する施策)

[単位：千円]

2 環境モデル都市として、我が国・世界を牽引する 地球温暖化対策、低炭素社会の構築に資する施策

12項目 639,600

<環境政策局>

①「DO YOU KYOTO?クレジット(仮称)」を活用した地域や中小事業者の温室効果ガス排出量削減促進事業 14,200

地域団体や中小事業者による温室効果ガスの排出削減を促進するため、排出削減量を経済的価値のあるクレジットとして認定し、特定事業者やイベント等実施者が活用する京都独自の仕組みを創設する。

[環境政策局 地球温暖化対策室 TEL 222-4555]

②事業者排出量削減計画制度の拡充 5,000

地球温暖化対策条例の改正に基づく新たな事業者排出量削減計画書・報告書制度を円滑かつ効率的に運用するため、ガイドラインの作成、説明会、個別相談等の実施により事業者を支援する。併せて、削減計画書・報告書に対する評価制度を導入し、計画書・報告書が低評価となった事業者に対して専門的な診断、指導を行う。

全体事業費 8百万円

(未来まちづくり推進枠5百万円、雇用対策事業特別会計3百万円)

[環境政策局 地球温暖化対策室 TEL 222-4555]

③低炭素のモデル地区「エコ学区」事業 29,300

低炭素社会実現に向けた先進的な取組を実践する学区を全区役所・支所管内において1学区ずつ選定し、積極的な省エネの推進や環境に関する学習会、企業やNPO、大学との連携による学区発の実験などに取り組み、地域ぐるみでのライフスタイルの転換を図る。

[環境政策局 地球温暖化対策室 TEL 222-4555]

(2 環境モデル都市として、我が国・世界を牽引する地球温暖化対策、低炭素社会の構築に資する施策)

[単位：千円]

④KYOTO環境知恵産業ブランド化推進事業 2,000

低炭素社会を先導する環境知恵産業の育成・振興を図るため、京都商工会議所との連携のもと、市内における環境エネルギー関連産業の実態把握を行い、優れた製品・サービスを選定するとともに、国内外への販路開拓に向けたプロモーション支援の検討を行う。

[環境政策局 地球温暖化対策室 TEL 222-4555]

⑤「環境未来都市」実現！スマートシティ京都プロジェクト 6,000

「環境未来都市」への選定に向けた必須の取組として、スマートグリッド(※1)、太陽光をはじめとする再生可能エネルギー、次世代自動車等を組み合わせた、京都市ならではのスマートコミュニティ(※2)を構築するため、産学公連携の研究会により検討を進める。

スマートグリッド(※1)

出力が不安定な再生可能エネルギーが大量導入された場合の課題などを解決するため、ICT(情報通信技術)を活用して、エネルギーの需給バランスを最適化するとともに、エネルギーの地産地消を実現するネットワーク

スマートコミュニティ(※2)

エネルギーに加え、交通や市民の行動の最適化をも目指す多様な技術が組み合わさった社会システム

[環境政策局 地球温暖化対策室 TEL 222-4555]

⑥次世代自動車普及促進事業 2,900

21年度から次世代自動車の普及促進を目的として、電気自動車を活用したカーシェアリングなどを実施してきたが、さらに、23年度は、電気自動車を利用したラリー(EVラリー(仮称))を京都府と共同で開催し、多くの市民、観光客に電気自動車の普及と環境問題の啓発を行う。

全体事業費 35百万円

局配分枠32百万円(カーシェアリング、電気自動車等用充電設備の設置等)
未来まちづくり推進枠3百万円(EVラリー(仮称))

[環境政策局 環境管理課 TEL 213-0930]

(2 環境モデル都市として、我が国・世界を牽引する地球温暖化対策、低炭素社会の構築に資する施策)

[単位：千円]

【局配分枠における主な新規・充実事業(環境政策局)】

[新規事業]

◇京都市役所温室効果ガス総排出量削減推進事業	1,900
◇鴨川の自然の恵みを育む協働事業	1,000
◇身近な自然度調査	3,000
◇京都版エコマナーの創設	10,300
◇生ごみ3R推進事業	9,800
◇大型ごみのリユースモデル実施	5,000
◇資源ごみ等の“新回収システム”モデル事業	20,300
◇産業廃棄物に関する社会意識の高揚	4,235

[充実事業]

◇太陽光発電普及促進事業	全体事業費	211,100	(うち充実分	100,640)
◇イベント等のエコ化の推進	全体事業費	8,400	(うち充実分	4,000)
◇資源物回収拠点の設置	全体事業費	14,500	(うち充実分	7,062)

<産業観光局>

⑦商店街街路灯LED化推進事業 10,000

温室効果ガス削減と消費電力量の低減化を目指し、街路灯の光源を水銀灯などからLED(発光ダイオード)へ交換する商店街に対し、その経費の一部を助成する。

補助率 3分の2

[産業観光局 商業振興課 TEL 222-3340]

(2 環境モデル都市として、我が国・世界を牽引する地球温暖化対策、低炭素社会の構築に資する施策)

[単位：千円]

⑧木質資源利用推進事業

5,000

森林の健全化による温室効果ガス吸収源対策と木質ペレットの利用による温室効果ガス削減対策を推進するため、間伐材を搬出・供給する森林組合に対し助成を行い、間伐材の利用促進と木質ペレットの利用拡大を図る。

事業期間 23～27年度（5年間）

助成内容 1 m³当たり2,000円

（ただし、2,500 m³（5百万円）を限度とする）

[産業観光局 林業振興課 TEL 222-3346]

【局配分枠等における主な新規・充実事業(産業観光局)】

[新規事業]

◇地球温暖化対策と連動した京都の森林（三山・北部山間地域等）整備・保全事業（雇用特会）

（寄付金付き商品の販売）

16,000

<都市計画局>

⑨平成の京町家普及・促進事業

4,000

伝統的な京町家の知恵と現代の技術を融合した京都型の環境配慮住宅である「平成の京町家」を広く普及させるため、平成の京町家の設計ガイドラインを作成する。

[都市計画局 住宅政策課 TEL 222-3666]

【局配分枠における主な新規・充実事業(都市計画局)】

[充実事業]

◇平成の京町家普及・促進事業 全体事業費 18,000（うち充実分3,000）

（未来まちづくり推進枠4,000 局配分枠4,000 投資枠10,000）

(2 環境モデル都市として、我が国・世界を牽引する地球温暖化対策、低炭素社会の構築に資する施策)

[単位：千円]

<建設局>

⑩緑視環境向上プロジェクト 111,000

◆桜景観創造プロジェクト 10,000

22年度に実施する桜の樹勢調査に基づき、23年度以降、順次、老朽木を更新する。

対象地域 木屋町通、白川北・南通、疏水第2分線

◆紅葉街路樹二段階剪定 49,000

紅葉する街路樹については、概ね隔年剪定を実施しているが、落ち葉による沿道住民の負担を極力軽減しながら、街路樹の紅葉による美しい景観を楽しむために、剪定対象木について紅葉前の秋口に一回目の軽剪定を行い、紅葉シーズンが終わってから本格的な剪定を行う二段階剪定を全市に拡大実施する。

◆都市緑化事業（街路樹整備～道路の森づくり～） 16,000

街路樹に被われた「道路の森づくり」を目指し、低木植栽のみの中央分離帯に、新たに高木を植栽する。

23年度は、御池通（天神川通～西大路通）において、事業を実施する。

◆公園緑地の植栽充実プロジェクト 6,000

公園内のオープンスペース（順次撤去を進めているちびっこプールの跡地など）に高木（ハナミズキ、サクラ）等の植栽を行う。

◆市民公募型緑化推進事業 30,000

道路、河川、公園などの公共施設のほか、公道に面した未利用地などの私有地も含め、新しく緑を増やしてほしい場所や緑化の方法などについて、広く市民からの提案を募集し、市民との共汗により緑化を行うことで、良好な都市景観の形成、防災機能の向上、緑を核にした地域コミュニティの形成を図る。

[建設局 緑政課 TEL 222-3589]

(2 環境モデル都市として、我が国・世界を牽引する地球温暖化対策、低炭素社会の構築に資する施策)

[単位：千円]

<教育委員会>

⑪学校エコ改修と環境教育事業 397,000

環境モデル都市の取組として、環境省の補助事業を活用し、低炭素社会を望む環境思想と京の文化を融合させたモデル事業を実施し、学校施設の省エネルギー化と教育環境の充実を図る。

整備実施校 朱雀第四小学校

年次計画 21年度 研究会の設置、整備内容検討など

22年度 実施設計

23年度 改修工事 (CO2削減、学習環境改善のための改修など)

[教育委員会事務局 教育環境整備室 TEL 222-3796]

⑫省エネに配慮した学校の長寿命化事業 53,200

学校施設整備や光熱水利用等における省資源・省エネルギー等の取組による環境負荷の低減と、将来にわたって環境を大切に作る心の育成(環境教育)の両面に配慮した学校施設の整備を推進していくとともに、学校施設の長寿命化に向け、最適維持管理を図る。

23年度は、整備に向けて、実施設計等を実施する。

[教育委員会事務局 教育環境整備室 TEL 222-3796]